

杜の伝言板
ゆるる
月刊



- 自然に遊ぶ環境を
- 自然観察路オープン ツリーハウスづくりへ向けて杉の皮むきにチャレンジ
- 震災伝承・防災の取り組み

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



自然に遊ぶ環境を

NPO法人日本冒険遊び場づくり協会東北オフィス
プレーリーダー 廣川 和紀

●●● 大人の生活の中の子ども ●●●

新しくできたシヨッピングモール。行ってみるとバケツをひっくり返したくらいに「土」があった。これは例え話ですが、もし、そんな場面に出くわしたらどう思いますか。ちよつと怖いですよ。『何だろう?』、『なんでだろう?』この感覚って、人工物に慣れすぎた私たち大人の感覚です。もちろん、きれいなシヨッピングモールの土は片付ければ済みます。

でも、今の時代「子どもは土」と同じように異質なものとして扱われているように思います。レストランで食事中、大きな声で泣き叫ぶ子ども、スーパーでの買い物中に突然寝そべる子ども。子どもは昔からそういう存在。それなのに、周りからの視線は冷たいし、拳句の果てには親の責任を追究されることもあります。これは、都会だけの話ではなく、仮設住宅で子どもが遊んでいると「うるさいー!」と言われるなど、県内



どこでも起こっている状況だと感じます。

私は、遊び場づくりを仕事としているので、遊び場で遊ぶ子どもたちの様子はよく見ていますが、水遊びが盛り上がる横で「濡らさないで!怒られる!」、汚れたら怒られるんだから!という言葉をよく聞きます。その言葉を聞くとたに、「常に大人の目が光っていて何もさせてもらえないんだなあ。」と感じます。その場に親がいなくてもこれです。

「泥んこになるまで遊べて楽しかったんだね。」って言うてもらえたら、子どもたちはどんなに幸せかと考えます。それが、生きていることの肯定に直接つながるからです。私自身も親になりましたので、汚れた服の値段や洗濯の手間が気にならないわけではありませんが、今のままでは圧倒的に大人が優勢だと感じてしまいます。これが、子どもの視線から見た都市化の弊害であり、少子化の問題です。大人の生活の中に子どもの居場所どころか、逃げ場所すらほとんどありません。

●●● 子どもにとっての遊び場 ●●●

子どもは、余暇活動として遊ぶ

のではなく、遊びを通して生きています。しかし、今の子どもたちは遊ぶことを許されない環境にいます。そんな、子どもたちを想うと、どうかして「遊んでもいいんだ」と自然に思えるような環境をつくってあげたいと思います。昔は、大人から逃げて遊ぶことができたのかもしれませんが、今は子どもの味方になる大人がいらないとその空間すら確保できません。

●●● 震災と遊び場 ●●●

県内では、西公園プレーパークの会、ふるじろプレーパークの会、認定NPO法人冒険あそび場せんだいみやぎネットワークが仙台市で、りふ・プレーパークが利府町で遊び場づくりを震災のずっと前から続けていました。

しかし、二〇一一年三月十一日



の東日本大震災で状況は一変します。直接津波の被害に遭い、同じ場所で活動を継続できなくなったところもあります。そして、なにより、活動者の心や生活にも大きく影響を与えました。それでも、彼らはすぐに子どもたちの心を心配し活動を再開していったことが印象的でした。

一方で、価値観の都市化が進むにつれて顕著になってきた子どもの環境問題を崩したのは、皮肉にも東日本大震災でした。気仙沼市では、NPO法人日本冒険遊び場づくり協会が常設の遊び場を立ち上げ、子どもの心のケアを目的に緊急的支援をしました。今では、気仙沼あそびーばーの会という地元団体に運営を引き継ぎ、子どもが居場所づくりとして活動しています。石巻市ではこども8感ばにーが地域に根付いた遊び場づくりをずっと継続しています。このように、震災があり、外部からの支援があつたおかげで、子どもたちからすれば、「やっと気付いてくれたのか」という気持ち



になれたのではないのでしょうか。ただ、震災で変わったのはそれだけではありません。石巻市では、亀が森地元有志の会、北上プレーパーク有志の会、子どものための石巻市民会議という地元の団体や大学生のサークルが立ち上がり、遊び場づくりの活動が広がっています。このまま東北でも子どもの遊び環境を考える大人が増えてくれるといいなと感じています。

しかし、四年が過ぎ、徐々に復興が進むにつれて、大人中心のまちづくりが進んでいるように見えます。元に戻るといえることは、また子どもの目線が忘れさられるということとです。震災直後の子ども心のケアを目的とした支援活動は終焉を迎える時期なのかもしれないませんが、遊び場づくりは新しいまちづくりが進む今だからこそ必要なことだと思えます。

●●● 市民参加の形 ●●●

もうすぐ、震災から五年目の夏を迎えようとしています。これからは自分たちのまちを自分たちで作っていく時期が来ています。私たちは、震災直後外部の団体やボランティアの方々にと

助けられませんでした。その支援の気持ちを学び、困っている人にも優しいまちづくりをしていくべきではないかと考えています。私の専門分野において、子どもです。震災の前から居場所がなくて困っていた子どもたちに優しいまちづくりを進めるにおいて、遊び場づくりは必須です。そして、自分たちのまちを自分たちで考え直すことはもとより、遊び場も誰かに作ってもらうものではなく、ま



ちの大人とそこにいる子どもたちとで一緒にくっついていくものです。自然豊かな宮城の特徴を生かして、子どもたちが自然に遊べる環境をみんなでつくりましょう。

● 県内の遊び場情報 ●

その先行事例として、宮城県内で、子どもの遊び場づくりの活動をしている団体が沢山あります。見学も可能ですし、夏休みに家族で遊びに行くこともできます。それぞれ開催日時が異なるので、お近くの遊び場、気になる団体があれば問い合わせしてみてください。

NPO法人日本冒険遊び場づくり協会東北オフィス

〒981-1241 名取市高館熊野堂字飛鳥中3番
●TEL: 080-9630-1437(廣川)
●E-mail: hirokawa@bouken-asobiba.org
●URL: http://bouken-asobiba.org/

◇こども8感ばにー

石巻市黄金浜ちびっこ遊び場
鹿妻東公園で開催 移動遊び場も開催
●TEL: 090-5902-0307(事務局)

◇子どものための石巻市民会議

石巻市内の公園、学校で移動遊び場を開催
●TEL: 0225-24-8716(戸田)

◇支援サークルひだまり

石巻専修大学内で遊び場を開催
●TEL: 080-2825-3350(宗像)

◇気仙沼あそびーばーの会

気仙沼市で常設の遊び場づくりをしている
●TEL: 0226-25-7780(事務局)
090-6782-2252(千葉)

◇ふるじろプレーパーク

毎月1回仙台市立古城小学校校庭で開催
夏の連続開催=7月23、24、26日
●TEL: 070-6620-0401(森)

◇りふ・プレーパーク

不定期に利府町内の公園で開催
●TEL: 090-9313-2916(高橋)

◇西公園プレーパークの会

仙台市青葉区西公園で開催 詳しくはHPで
●TEL: 090-7562-6152(佐々木)

◇認定NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

仙台市・岩沼市の仮設住宅や公園で移動遊び場を開催
詳しくはHPで
●TEL: 022-264-0667(事務局)

◇亀が森地元有志の会

毎月第1日曜日石巻市河北地区亀ヶ森八幡神社・公園で開催
●TEL: 080-5223-4976(阿部)



自然観察路オープン



ツリーハウスづくりへ向けて 杉の皮むきにチャレンジ



NPO法人 蔵王のブナと水を守る会 理事長 白内 恵美子

当会は、南蔵王中腹に広がる荒地をブナ林に復元しようと、白石市民が中心になって一九八六年に結成しました。以来二九年間、ブナの原生林を伐採から守る運動と、荒地を「落葉広葉樹の森」に戻す活動を続けています。

一九九八年にナショナル・トラストを開始、一九九九年に宮城県初のNPO法人の認証を受け、〇七畝の土地を取得、二〇〇一年に白石市と共同で一三畝を取得、二〇〇二年には会員手作りの丸太小屋を完成させています。

取得した植林地に植えた木がある程度育ってきたことから、この先、「森」に変わっていく様子を観察できるように、今年の六月十四日、自然観察路をオープンしました。当日は、オープンイベントとして記念植樹や枝打ち作業、自然観察路の散策、杉の丸太の皮むき、グイブラフオンのコンサートが行われましたので、紹介します。

●●● 自然観察路の散策 ●●●

午前一〇時、霧雨が降る中、丸太小屋の前に集合し開会式の始まりです。今年はいつも参加頂いている企業さんから五二名、個人四名、会員一六名の総勢七二名の参

加がありました。

自然観察路は「彩遊の森」「リスの森」「アナグマの森」の三つに分かれています。今回は、

四班に分かれ、それぞれの班の担当となった会員が先導します。私が担当した班は、最初に「彩遊の森」の散策です。

最初に、入り口に設置したばかりの「彩遊の森案内図」の看板を眺めます。二三種類ものスミシの花々やブナやミズナラなどの木々の写真に、参加者から驚きの声が上がりました。この看板は、観察路の案内であると同時に、観察路内の四季折々の代表的な植物と、クマの爪痕やノウサギの足跡など、約五〇枚の写真を掲載しています。「明るくて美しい看板ですね。」とお褒めの言葉を頂きました。

観察路入口から入って、いよいよ散策の始まりです。「ミズナラ・アズキナシの林」には、ミズナラの大きな木が何本もあります。一番大きな木に梯子をかけてあるので、高い所の枝まで簡単に登るこ



彩遊の森案内用看板

とが出来ます。若い男性が早速登って嬉しそうでした。

次は二〇〇四年に植林した場所です。パイオニアプラント(先駆性樹木)であるヤマハンノキが、一〇位位に伸びています。根粒菌を持ったパイオニアプラントは、肥料木ともいわれ、土壌を肥やす効果があります。ヤマハンノキが伸びて森のような姿になると、鳥や動物、風が様々な樹種の種子を運んで来てくれるようになります。現在は、その種子から苗木が育つ姿が見られるようになりました。

このように、荒地が森へと移り変わっていく(遷移)様子を観察するのが、この観察路の一番の目的です。

植林は全てが上手くいっているわけではありません。冬になり植林地が一面雪に覆われると、食べ物がないため、ネズミがミズナラやコナラなどドングリのなる木の根っこをかじり、木を倒してしまっています。ウサギは伸びてきた新しい枝をかみ切ります。まるで刃物で切り取ったような職人技です。

私たちの森づくりは、動物たちとの共生が基本であり、餌のない時季に食べ物を提供出来たことは嬉しいのですが、せっかく育てた木を倒されると少し複雑です。

●●● 枝打ちと丸太の皮むき ●●●

彩遊の森を三分の一ほど歩いたところで、枝打ち作業の時間となりました。

枝打ちは、高枝のこぎりを使って、ヤマハンノキの伸びすぎた枝を伐る作業です。将来の森の主役にしたいブナやミズナラに日が当たるように、ヤマハンノキに心の中でお詫びしつつ伐っていきます。女性でもかなりの高さまで伐ることが出来、山仕事をしている気分満点の作業です。薄暗かった森に日が差し、森が明るくなります。

次に、「リスの森」に移動し、本日メインイベントである「杉の丸太の皮むき」に挑戦です。

入り口付近に、大きなコナラの木があり、そこにツリーハウスをつくる予定で、杉の丸太は、ツリーハウスの下のデッキの材料となるものです。三人一組となり竹べらを使ってむくのですが、むきやすい木、むきにくい木



▶皮むきに悪戦苦闘

があり、むきやすい木に当たった人は、写真の通り、つるりとむけて大歓声が上がります。

企業から参加の若い人たちが力を発揮し、休むことなく次々挑戦してくれましたので、全部で三〇本以上むくことが出来ました。夜勤明けで参加してくれた方もおり、本当にお疲れ様でした。私の班は皮むきに夢中になったため、この後の散策を取りやめました。

●●● ツリーハウスへの想い ●●●

ツリーハウスは、私たちの長年の夢です。自然観察路を散策するだけでは、子どもを惹きつけることができません。木に登り自然の中で思い切り遊ぶことから、自然への関心が芽生えてくるのだと思います。コナラはドングリのなる木です。どんな花が咲いて、どのようにして実になっていくのか、自分の目で確かめて欲しいのです。ツリーハウスづくりは、夢を追いかける事業です。つくる過程で、大人がはまってしまうそうです。私たちのツリーハウスは、残った杉の皮むきを終え、乾かした後に、秋から作業に入ります。一緒につくってみたい方は、是非ご連絡ください。

昼食後に自然観察路オープンを祝って、丸太小屋の中でヴィブラフォンのコンサートを開催しました。



◀ヴィブラフォンを演奏する羽賀智美さん

「丸太小屋は良い音が出ますね。」と、奏者の方からよく言われます。太い丸太には自然の音響効果があるようです。

日が差してきた初夏の森の中で、爽やかなヴィブラフォンの音色に至福の時間を味わい、オープンイベントが終了しました。

●●● これからの活動 ●●●

一九八六年から始まった活動が、新たな段階に入っています。必死に苗木を植えた活動から、今後は枝打ちや間伐などの育林活動が中心となります。変わり目の時期に、自然観察路を完成出来たことは、当会にとって最大の喜びです。

日常生活を離れ森に入ると、足元の小さな草花や樹々たち、鳥や虫たちの息吹を感じます。自然の中では人間はちっぽけな存在です。自然の一部にすぎません。悩んだ時や辛い時は、ストレス解消

に是非遊びに来てください。森づくりには長い年月が必要ですが、会員の高齢化が進んでいることから、若い方の参加をお待ちしています。また、今後は親子での参加を期待し、ツリーハウスづくりにも挑戦します。現在、一緒に挑戦したい方を募集中です。是非ご参加ください。

蔵王のブナと水を守る会

〒989-0231 白石市福岡蔵本字滝下102

- TEL/FAX : 0224-25-3820(事務局)
- E-mail : mail@zao.org
- URL : http://www.zao.org

トラスト地・作業小屋(月例会・森の教室活動場所)
白石市福岡不忘山(白石市内、白石ICより車約30分)

●=トラスト地

震災伝承 防災の取り組み

公益社団法人みらいサポート石巻
専務理事兼事務局長 中川 政治



二〇一一年三月十一日、東日本大震災とその後の大津波が東北地方の沿岸を襲いました。家が流されるなど大きな被害を受けた方々を支援するため、全国各地からボランティアやNPOが石巻へ集まり、一年間で二十七万人以上の方が活動しました。

同年夏頃から、炊き出しや泥かきなどを終えて拠点へ戻ってきたボランティアに対して地元の方々が車座になって震災直後の様子を伝える「語りの会」が始まりました。ボランティア以外からも震災の体験談を聞きたいという要望が高まり、二〇一二年より「震災の語り部」を開始し、様々なプログラムを追加しながら現在も継続しています。

語り部さんが伝えること

「語り部」の開始前に、会場周辺の震災前後の写真や津波被害の映像をお見せすると、自分が今いる場所にも数メートルの津波が来ていたことを知ったお客様から驚きの声があがります。

その後で語り部さんから震災当日や避難生活など自分の体験を、つい昨日のことのように詳しく語っていただきます。

語り部のお話し



その日、津波が襲いかかる直前に、ギリギリで難を逃れた語り部さん。凍るような寒さと疲労に耐え、木にしがみつきながらも運河に引き込まれ救急車で運ばれた語り部さん。当時のつらい思い出に言葉につまってしまうことも。

お客様も息を飲んで語り部さんの声に聞き入り、こらえきれずにすすり泣く方も少なくありません。実体験が持つ雰囲気にも包まれ、語り部さんのお話の後には、会場の空気が始まる前とは全く変わっていることに気が付きます。

石巻津波伝承ARアプリ

震災から四年以上が経過し、初めて石巻を訪れた方々にとって、この場所がどれだけの被害を受けたのか想像することは難しくなりました。

このような背景の中、震災を記録し伝える手段として、スマート

フォンやタブレット端末を活用して「石巻津波伝承AR」アプリ(無料)を開発しました。

「自分と同じ思いをする人が一人でも少なくなるように」との思いを持つ石巻市民と協力し、兵庫県佐用町や神戸市での先行研究を参考にし、東北地方で初めて公開することが出来ました。

このアプリでは、市街地を中心に四十一地点で「震災前」「震災直後」「震災後」「未来図」の時系列で写真を比較することができます。またAR(拡張現実)技術の活用により、現在の風景と震災直後の写真を重ね合わせたり、その場所の大震災時の津波の浸水深を透過させて見ることもできます。

また、被災された方の体験談(音声)をアプリ内で再生することもできます。



●●● 防災まちあるき ●●●

「防災まちあるき」は、スタッフが同行し、「石巻津波伝承AR」アプリを使って街歩きをしていただく、体験学習プログラムです。

被害の大きかった南浜地区を一望できる日和山から市街地にかけて、一〜二十名のグループで一時間強で回れるモデルルートを設定しました。

今見えている風景にタブレットをかざして震災直後や震災前の様子を重ねてみると、多くの方が驚かれます。一面ガレキだらけだったり、道路に大きな船が横たわっていたり、潰された車が今いるその場所に積み重なっていたのです。



▶アプリ「石巻まちあるき」

アプリで津波の侵水深を見ると、海や川から離れた場所でも自分の身長よりはるか高くに水が押し寄せたことがわかります。

参加者からは「うわっ!」「え?」といった感嘆詞が聞かれ、高台避難の重要性を実感してもらえます。



▲津波浸水実績

「防災まちあるき」プログラムは今年の五月まで二〇回、二二〇〇名の方に開催してきました。

プログラムに参加された方々を対象としたアンケートでは「震災発生直後の写真が見られる機能」に全員から好評価をいただき、「テレビと全然違う」という感想もあり、被災地に足を運んで実感していただくことの必要性を再認識しました。

また、「ガイドの案内」に、特に高評価をいただき、IT技術に頼り切らない丁寧な案内によって、震災の教訓を効果的に伝えていくことも確認できました。

震災伝承の展示施設を建設するには億単位の経費がかかりますが、アプリは百万円から開発が可能です、更新も容易なため、既に、

他地域でも地域資源を可視化する取り組みとして横展開が広がっています。

このような取り組みが認められ、「防災まちあるき」は総務省の地域創生に資する「地域情報化大賞」の「特別賞」に選定され表彰を受けました。

●●● 未来へつなぐ ●●●

石巻市では石巻観光ボランティア協会が実施する「学びの案内」で年間約二万五千人、当会の震災プログラムで約五千人を受入れてきましたが、全体としては、昨年度から減少傾向が見られるようになってきました。

石巻市には、宮城県で唯一国営の南浜地区復興祈念公園(仮)が五年後に完成予定のため、「石巻に来たら震災のことが学べる」と思ってもらえるよう、これから、地域の方々と共に、震災伝承の様々な取り組みを展開してゆく予定です。

今後、「石巻津波伝承AR」アプリは、石巻市、東松島市、女川町

の二市一町の紹介ポイントを拡充してゆく予定です。

また、県外の学生向けにスタートした「語り部さんと歩く三・一一」は、二百人程度の大人数にも対応可能で学校からも好評を得ています。生徒から送られてくる感想文から、スタッフや語り部さんたちが元気をもらうなど、参加者は勿論、私たちも、震災を伝えてゆく意義を実感できるプログラムです。

私たちは、今年度から石巻市の小学校でも防災教育のお手伝いを始めました。震災時幼かった子ども達には、通学路のどこまで津波が来たか想像することは中々難しいですが、アプリで浸水深を見せると、「この辺だと、深さどれくらい?」と興味を持って学んでくれます。

震災伝承の取り組みは予算も限られる上に、地域の方々の理解と協力が欠かせませんが、今後も、県外に限らず地元石巻にも、震災を伝えつなぐ取り組みを継続してゆきます。

7月1日、公益認定を受けることができました!
公益社団法人みらいサポート石巻

- TEL : 0225-98-3691
- FAX : 0225-98-3692
- URL : <http://ishinomaki-support.com>

はじめの一步



みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザ(以下、プラザ)には、短期ショップというスペースがあります。

このスペースは、コミュニティビジネス(以下、CB)に取り組むNPO、事業資金が必要なNPO、また、活動の成果を発表するNPOが、販売事業や展示会を行うために設けられています。使用料金は一日二〇〇円。『CBに取り組むNPOを支援する』ため、プラザでは料金を低額に設定しています。

活動発表と販売の場として

六月十一日から十六日にかけて、ユニバーサルファッション工房(以下、工房)が短期ショップを利用して『つくるい塾 夏バザー』を開催しました。開催中は一日平均三十名の来店者が訪れ、賑わっていました。

工房は、十年前から障がい者や高齢者の体形に合わせた衣服の製作・リフォームを行う「バリアフリーつくるい塾」を開催しています。定期的に短期ショップを使用し、メンバーが制作した作品の展示販売と小物作りワークショップを行っています。

「バリアフリーつくるい塾で制

◀工房の「眼鏡ホルダーワークショップ」



作した作品を、多くの方に手にとってもらい、良さを感じてもらえることは、メンバーにとって、喜びであり、ユニバーサルファッションの良さを知ってもらえる場です。作品が売れると、活動の励みになります」と、工房代表の佐藤萬里子さんは語ります。

プロが教える「こんな使い方」

CBに使えるスペースがあるとはいっても、「上手く活用する方法がわからない」と思われる方もいらっしやるでしょう。そんな方のために経営コンサルタントの波多野卓司さんからアドバイスをもち

らっています。波多野さんはプラザのCB相談も務める経営のプロです。

「CBを始めたものの、事業運営に行き詰まってしまった……という団体からの相談は少なくありません。その原因としてよくあるのは、売り手であるNPOが想定する利用者ニーズと、実際に利用者が期待しているニーズとの間にズレがあるケースです。こうしたケースで、絶対とも言える有効な方法があります。サービス利用者の意見を直接『きく』ことです。『きけば』ズレませんから。アンケートをしたりヒアリングをしたり、あるいは利用者の表情をみつめたり……。CBを実践する団体にとって、短期ショップスペースは、ニーズを『きく』ための、絶好の場所になると思います」。

使用団体は随時募集中!

団体の活動の場として『物販』『相談』『教室』『展示』など、短期ショップスペースの活用方法はたくさんあります。連続した六日間から二か月間の使用申込が可能です。見学も可能ですので、是非ご活用ください。

プラザのNPO相談

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談

毎週水曜日 13:00~17:00

会計・税務相談

7/23(木) 13:00~17:00

法律相談

8/28(金) 13:00~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榎ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>



第9回現地NPO応援基金

「東日本大震災復興支援JT NPO応援プロジェクト」

- 助成対象：(1)地域の人々の希望を支える事業
(2)地域の人々の主体性を育む事業
(3)地域の人々に長期的視点をもちながら寄り添う事業(概ね5年以上の長期とする)
- 対象団体：岩手県・宮城県・福島県のいずれかに活動拠点を置き、1年以上の活動実績を有する民間の非営利組織。(法人格の有無・種類不問)
- 助成金額：1件あたり300万円以上、500万円以内
- 応募締切：7月15日(水)必着
- 連絡先：認定NPO法人日本NPOセンター
『東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト』事務局(担当：中川、西口)
TEL：03-3510-0855
URL：http://www.jnpoc.ne.jp/?p=7853

社会的・文化的諸活動助成

- 助成対象：情報通信を通じて社会、教育、環境等の課題解決に貢献する活動
※通信業者や地方自治体等の本来業務に該当する事業は対象外
- 対象団体：非営利団体(NPO・NGO)
- 助成金額：1件あたり上限100万円
- 応募締切：7月16日(木)必着
- 連絡先：公益財団法人KDDI財団 助成業務部
E-mail：grant@kddi-foundation.or.jp
URL：http://www.kddi-foundation.or.jp/

こ〜ぶほっとわ〜く助成金

福祉活動・研究助成(上期)

- 助成対象：高齢者・障がい者・児童の生活支援活動、支援施設づくり(改装、備品の購入を含む)、住みよい社会を作るための調査・研究活動、交流集会・研究会・シンポジウムの開催等の非営利活動。その他、上記の目的を達成するために必要な事業
- 対象団体：宮城県内で活動する非営利の団体・個人(法人格の有無不問)
- 助成金額：原則として上限50万円
- 応募締切：7月20日(月・祝)消印有効
- 連絡先：みやぎ生協生活文化部こ〜ぶほっとわ〜く助成金係
TEL：022-218-5331
URL：http://www.miyagi.coop/member/fukushi/hotwork/

公益信託 大成建設自然・歴史環境基金 2015年度助成

- 助成対象：国内・開発途上国の自然・歴史環境の保全活用にかかわる活動や研究
- 対象団体：自然・歴史環境の保全活用を行う非営利団体等
- 助成金額：総額1,500万円程度(件数30件程度)

- 応募締切：7月31日(金)必着
- 連絡先：『公益信託 大成建設自然・歴史環境基金』事務局(みずほ信託銀行株式会社 個人業務部 福祉信託係 内)
TEL：03-3274-9210
URL：http://www.taisei.co.jp/about_us/society/kikin/index.html

一般財団法人 松翁会 平成27年度 社会福祉助成

- 助成対象：民間の障がい者の福祉向上、難病、虐待防止に関する事業
- 対象団体：非営利団体・法人であること(法人格をもたない団体であっても、助成することで効果が期待できる場合は対象とする)
※過去3年間に松翁会から助成を受けた法人・団体は対象外
- 助成金額：1件あたり上限60万円
- 応募締切：7月31日(金)必着
- 連絡先：一般財団法人松翁会事務局
TEL：03-3201-3225(平日9:00~17:00)
URL：http://shouohkai.or.jp/zaidanhojin_shououkai/

公益財団法人宮城県国際化協会 国際交流事業等助成金

- 助成対象：県内の国際活動団体及びボランティアグループ等が企画・実施する各種の国際交流・協力、多文化共生推進事業
- 対象団体：(1)1年以上の活動実績があり、目的、組織、代表者など団体運営に必要な事項について定めがある団体
(2)県外に主たる事務所を有している場合、(1)を満たし、県内には、その支部組織等が活動している国際活動団体等
- 助成金額：上限25万円以内、助成対象経費の2分の1が限度(事業の規模により交付額が変わります)
- 応募締切：8月10日(月)
- 連絡先：公益財団法人宮城県国際化協会 企画事業課
TEL：022-275-3796
URL：http://mia-miyagi.jp/grant.html

第13回MPDリーム助成金

- 助成対象：東日本大震災からの復興に向け行われる、社会的問題を解決するための活動、福祉教育、ボランティア啓発活動、活動に必要な器具・器材の購入費
- 対象団体：東日本大震災からの復興に向け活動している、岩手、宮城、福島の3県内のボランティアグループ
- 助成金額：1件あたり上限20万円以内(ただし、申請する事業の10%以上は、自主財源とする)
- 応募締切：8月20日(木)17時必着
- 連絡先：三重県遊技業協同組合事務局
TEL：059-227-7331
URL：http://www.sanyukyo.jp

食の欧米化や添加物、化学薬品など身近な問題さえも個人ではどうすることもできません。その中で、国や他人任せではなく、自分たちでできることを工夫していこうと考えている方が増えています。「今日から実践できる!」役立つ内容です。

- 日 付：7月25日(土)
- 場 所：名取市文化会館 会議室 (名取市増田字柳田520)
- 内 容：①10:00~12:00 (講師：菊地 素博氏)
環境からの健康=米のとぎ汁発酵液の活用法
②13:00~15:30 (講師：三浦 和恵氏)
病気は基本的に自然治癒力を高めて自分自身で治すもの
- 持 ち 物：①参加者…1.5ℓまたは2ℓの空のペットボトル
①・②通しての参加者…昼食持参
- 参 加 費：無料
- 申 込 方 法：下記連絡先へ問合せ
- 主 催：NPO・EMプラネット 蘇生塾
- 連 絡 先：担当：三浦 TEL：090-9747-3610

7/25 市民活動を「体験する」時間 saposen ちょっと。ボランティア

市民活動をしている人たちって、どんな人なんだろう？ボランティア、やってみたくけど、どうしたらいいんだろう？NPOって、なに？こんなあなたにおススメの「時間」。

- 日 時：7月25日(土)10:00~12:00
- 場 所：NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ事務所
- 内 容：ケニアの職業訓練所で作られたものを販売するための準備を体験します。
- 定 員：10名
- 参 加 費：無料
- 申 込 方 法：7月6日(月)から申込み受付開始
E-mailでお申込の方は、件名を「体験する時間」として、氏名・年代・住所・TEL・FAXをお知らせください。TEL・FAX・窓口でも受付
- 主 催：仙台市(仙台市市民活動サポートセンター)
- 企画実施：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- 連 絡 先：仙台市市民活動サポートセンター
TEL：022-212-3010 FAX：022-268-4042
E-mail：sendai@sapo-sen.jp
URL：http://sapo-sen.jp/event/1936/

8/1 第15回アディクション・フォーラム 生きるってしんどいね~それでもどうにか15年~

仙台・宮城の地域で自助グループ活動をしている有志が集まり、2001年から毎年行われているアディクション・フォーラム。私たちは誰かとつながることで楽に生きる知恵を持って

います。このすばらしい人間の知恵を私たちは伝え続けていきたいと思えます。問題だらけで弱いままつながるお祭りです。

- 日 時：8月1日(土)10:00~17:00
- 場 所：仙台市シルバーセンター 1階 交流ホール (仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容：◆リカバリーパレードin仙台 アピール
◆【講演会】講師 水澤 都加佐氏(アクス・ヒューマン・ケア研修相談センター所長)
◆【講演会】講師 石川 達氏(東北会病院院長精神科医)
- 入 場 料：前売 1,000円 当日1,200円
※チケットの購入については、下記にお問合せ
※参加者には、自助グループ資料(せんだい・みやぎアディクション・ミーティングガイド)をプレゼント
- 主 催：アディクション・フォーラム実行委員会
- 連 絡 先：実行委員会事務局 仙台ダルク内
TEL：022-261-5341 FAX：022-261-5340

8/2 東北レインボーSUMMERフェスティバル

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなど、多様な性に関わる東北の各団体が合同で開催するスペシャルイベントです。夏の東北を熱く盛り上げます！

- 日 時：8月2日(日)13:00~17:00
- 会 場：仙台市市民活動サポートセンター 地下1階市民活動シアター
- ゲ ス ト：武田こうじ氏(詩人)
- 内 容：ステージイベント
①13:30~15:00
武田こうじポエトリー・リーディング&トーク
ショーほか(第1部のみパソコン要約筆記付)
②15:30~16:30
ステージ・パフォーマンス/Anego Girls ほか
◎ブース展示/Anego、&Canvas、community center ZEL、東北HIVコミュニケーションズ、虹色雑貨店(東北芸術工科大学LGBTサークルstArtほか)
- 対 象：年齢性別セクシュアリティ関係なく、どなたさまもお気軽にお越しください！
- 入 場 料：無料
- そ の 他：その他最新情報は公式サイトにて随時更新
- 主 催：Anego
- 連 絡 先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター レターケースNo.26
E-mail：anegosendai@yahoo.co.jp
URL：http://tohokurainbowssummer2015.jimdo.com/

情報をお待ちしてます

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

寄付のお願い

みやぎのボランティア・市民活動の情報を発信している月刊情報誌「月刊杜の伝言板ゆるる」。1997年の創刊以来、皆さんのご寄付と応援に支えられて、毎月欠かさず発行を続けてきました。これからも情報誌を通して、みやぎの市民活動を発信し、ボランティアや市民活動に取り組みやすい環境をつくってまいります。活動へのご支援よろしく願いたします。

「認定NPO法人」である当法人へのご寄付(賛助会員の会費含む)は、税制上の優遇措置(寄付控除)の対象となります
当法人を応援して下さる方のご寄付は、こちらから受けつけております。

【お振込み先】
郵便振込口座 02250-0-43800
加入者名 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
※会員申込については、P14をご参照ください

す。そんな時こそこの話を聞いていただきたいのです。社会や家庭での悩み、さらには地球環境問題など解決の糸口を皆様の心に届けます。

- 日 時：7月19日(日) 開場：17:00(開演 17:30)
- 場 所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1 6階)
- 講 師：寿 だるま氏
- 参 加 費：1,000円(中学生以下は無料)
- 託 児：有り
- 申込方法：当日券有り
- 主 催：NPO法人コンパストウキョウジャパン
- 連絡先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-10-14
5階 ピカソ美容院
TEL：022-262-9923 FAX：022-222-9281
E-mail：picassobeautysalon@yahoo.co.jp
URL：http://www.compass-tokyo-japan.net/

7/20 第1回 誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台 タウンミーティング2015

仙台市では障がい者差別禁止条例の制定を目指し、話し合いを続けています。このタウンミーティングは「障がい者差別事例の整理と、差別を行わないための対応要領」を考えるための学習会です。

- 日 時：7月20日(月・祝)13:15～17:00(開場・受付13:00～)
- 場 所：東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)
6階 602号室(仙台市青葉区国分町3-3-7)
- 内 容：【第1部】
・基調講演(仮)「差別解消法と差別禁止条例の説明」(崔氏/DPI日本会議)
【第2部】
・差別事例整理のポイント説明
・差別事例の検討・グループディスカッション
・事例の解説(崔氏、今村氏、田丸氏/DPI日本会議)
・条例の会仙台的活動報告(条例の会仙台)
- 申込方法：下記連絡先にE-mailいただくか、URLから申込用紙をダウンロードのうえ、FAXで申込み
- 申込締切：定員になり次第締切
- 連絡先：誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台連絡協議会(愛称:条例の会 仙台) 事務局
担当：杉山
〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町1-6-1
TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501
E-mail：jyoureisendai@gmail.com
URL：http://blog.canpan.info/jyourei/

7/22 MIA日本語サポータービギナー研修会

日本語を学習したい外国人に、マンツーマンで日本語を教えるボランティア活動について基礎から学ぶ研修会です。日本語サポート活動を初めてみたい方、登録はしたけれど、実際どうしていいかわからないというビギナーの方々にお勧めです。

- 日 時：7月22日(水)13:00～16:00
- 場 所：宮城県国際化協会交流ラウンジ
- 内 容：地域の国際化と日本語ボランティア活動について、外国語としての日本語、やさしい日本語について、日本語学習教材の紹介など
- 講 師：鈴木英子氏(MIA日本語講座スーパーバイザー)
- 定 員：30名(先着順)
- 申込方法：下記連絡先まで電話またはメールにて申込み
※参加はMIA日本語サポーター登録者限定

- 主 催：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)
- 連絡先：〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL：022-275-3796 FAX：022-272-5063
E-mail：mail@mia-miyagi.jp
URL：http://www.mia-miyagi.jp/

7/25 「ビッグイシュー日本版」仙台販売開始 満10周年記念イベント

ホームレスが路上で販売をし、糧を得、自立の足がかりとすることを目的とした雑誌「ビッグイシュー日本版」が仙台での販売、満10周年を記念し、イベントを開催します！

- 日 時：7月25日(土)14:00～16:30(開場13:30)
- 場 所：仙台弁護士会館 4階 大会議室
(仙台市青葉区一番町2-9-18)
- ゲ ス ト：佐野 章二氏((有)ビッグイシュー日本共同代表、認定NPO法人ビッグイシュー基金理事長)
長崎 友絵氏((有)ビッグイシュー日本・東京事務所所長補佐)
- 内 容：【第一部】佐野章二トーク(約60分)
ホームレスはビジネスパートナー
ービッグイシューの10年とその未来ー
【第二部】みんなでトーク(約60分)
参加者、仙台の販売者、サポートメンバー、佐野氏、長崎氏によるフリートーク
※雑誌のバックナンバー、記念Tシャツの販売有
※事前申込不要
- 参 加 費：無料
- 主 催：仙台ビッグイシューソサイエティ
- 連絡先：〒981-0933 仙台市青葉区柏木3-1-24
フォーブル北社101号
TEL：070-5620-4335(芳賀)
URL：http://bigissue.jp/news.html#15061201

7/25 “わたし”から始まる認知症サポート 宮城の認知症ケアを考える会講演会

認知症の本人および家族等の生活の質を高め、宮城の豊かな高齢社会の創造に資することを目的として活動しています。今回は「“わたし”から始まる認知症サポート」をテーマに一緒に考えましょう。

- 日 時：7月25日(土)13:00～17:00
- 場 所：仙台市急患センター 大ホール(仙台市若林区舟丁64-12)
- 講 師：川村 雄次氏(NHK制作局 文化・福祉番組部
チーフディレクター)
丹野 智文氏(認知症ワーキング・認知症当事者)ほか
- 定 員：250名
- 参 加 費：1,000円
- 申込方法：下記URLリンク先かE-mailで申込み
E-mailでお申込みの場合は、氏名、E-mail、所属を記入
- 共 催：宮城の認知症ケアを考える会、エーザイ株式会社
- 連絡先：宮城の認知症ケアを考える会
E-mail：miyaginintishou@gmail.com
URL：http://miyaginintishou.jimdo.com/

7/25 環境対策と健康講座

温暖化・放射能汚染・pm2.5などの地球規模の問題はじめ、

- 日 時：7月18日(土)、7月25日(土) 各日10:00~12:00
- 場 所：仙台演劇工房 10-BOX box-3(仙台市若林区卸町2-12-9)
- ファシリテーター：西海石 みかさ氏
- 持 物：動きやすい格好、飲み物、タオルなど
- 対 象：どなたでも参加可能
- 参加費：一般500円、障がい者300円
高校生以下・ガイドヘルパー無料
- 申込方法：下記連絡先へTEL・E-mailでお問合せ
- 主 催：NPO法人アートワークショップすんぷちよ
- 連絡先：TEL：070-5017-5904(ヨコヤマ)
E-mail：info@sun-pucho.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

7/18 7月 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

- 日時・場所：◆仙台会場7月18日(土)【毎月 第3土曜日】
・時間：14:00~16:30
・場所：あしなが育英会 仙台レインボーハウス
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
◆石巻会場8月9日(日)【毎月 第2日曜日】
・時間：14:00~16:30
・場所：カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
- 対 象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参加費：無料
- その他：事前の申込みは必須ではありませんが、準備の都合上、ご連絡いただくと助かります
- 主 催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連絡先：TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

7/19 Workafe 企画 働く人への座談会 ~覚えておきたい 我慢し続けられないための対処法~

職場の問題の実例や改善例を率直に話し合い、「同じ悩みを抱える人が他にもいるんだ」と気づくことで問題を客観的に見つめ直して、実践的な解決策を得るための座談会を開催します。働いていくうえで役立つ情報をお伝えします。

- 日 時：7月19日(日) 14:00~17:00(開場13:30)

縦 覧 中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 4階研修室5
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師：指宿 昭一氏(暁法律事務所弁護士)
- 内 容：【第一部】実体験(社会人数名から実体験の紹介)
【第二部】座談会(悩みへのアドバイス&参加者全員で座談会)
●アドバイザーから(問題と社会の仕組みとのつながり/問題解決までのプロセス)
●参加者全員で(身近な悩みや諦めている実情など)
※終了後に懇親会があります(要予約)
- 定 員：50名
- 参加費：500円
- 申込方法：下記連絡先に申込み
- 主 催：Workafe (ワーカフェ)
- 連絡先：TEL：080-5089-4707(佐々井)
E-mail：workafe219@yahoo.co.jp
URL：http://workafe.nomaki.jp

7/19 東北初開催! 『第13回 全国車いす アクセス・マニア集会in 仙台』

現在の日本では、歩けなくなっても、どんな重度の障がいがあっても、それに応じた車いすを使い、公共交通を利用して旅行をしたり、行きたい所に行くことができます。そんな旅で味わう楽しさ・困難さを楽しさに変えてしまう“アクセス・マニア”達の旅の自慢話を聞き、自分も発表して、電車や路線バスを利用する仲間を増やそうとする集まりです。

- 日 時：7月19日(日)13:00~18:00
- 場 所：仙台市生涯学習支援センター(旧：中央市民センター) 第2セミナー室(仙台市宮城野区榴岡4-1-8)
- 講 師：車いす旅行のベテラン講師陣が勢ぞろい!
◎今福 義明氏(アクセスジャパン代表)
◎アシトド松井氏(車椅子電車評論家)
◎山名 勝氏(アクセス関西メンバー)
◎頼尊 恒信氏(NPO法人CILだんない 事務局長)
※「旅の話し」当日の発表者を募集中(1人20分程度)
- 申込方法：下記連絡先にE-mailで申込み
※詳細な問合せもE-mailでお願いします
- 連絡先：CIL たすけっと事務局
TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501
E-mail：cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp

7/19 講演会「忘れかけた心をあなたに」

誰でも多かれ少なかれ日常生活に不安や悩みを抱えていると思いま

■宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>

NPO法人の設立を新しく申請した団体				
団体名	所在地	活動内容	受理日	
宮 どもも∞感ぱにー	石巻市	子どもの居場所(あそび場)づくり及び子育てサポート等に関する事業を行うもの	5/21	
城 浜わらす	気仙沼市	子どもたちに対する自然体験事業及び多世代交流促進事業等を行うもの	5/22	
県 びば!!南三陸	南三陸町	地域住民の活動拠点の運営事業等を行うもの	5/28	
等 こころの森	石巻市	育苗や植樹作業を通じて豊かな心を育てる事業等を行うもの	6/4	

新たに認定NPO法人を取得したNPO法人

- 認定/NPO法人みやぎ災害救援ボランティアセンター

※認定(仮認定)NPO法人への寄付金は税額控除の対象になります。認定NPO法人は税制面で優遇措置を受けることができます。

NPO法人に認証された団体				
団体名	所在地	活動内容	認証日	
宮 ポラリス	山元町	障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業等を行うもの	5/12	
城 ゆつけっちゃん	大崎市	資金や人材の供給事業及び情報発信及び啓蒙等の支援事業	5/28	
県 Synapse40	大崎市	学習支援及び子育て支援をととした組織結合仲介事業	6/2	
等 大崎タイムス福祉部	大崎市	福祉及び教育団体への寄付金配分事業及び在留外国人の福祉文化向上事業	6/9	
仙 STAスポーツ	若林区	スポーツ・文化に関する教室企画・クラブ運営事業 スポーツに関する指導者育成事業 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	5/22	

宮城県のNPO法人数

788団体

(宮城県等所轄:376団体 仙台市所轄:412団体)

※2015年6月10日現在



あなたの心に寄りそう 傾聴サロン

あなたの不安や悩み、誰にもいえない心のうちを話しに来ませんか。誰かに話す(放す)ことで、心の重荷が軽くなり、気持ちの整理もできると言われています。個別に対応しますので、どなたでもお気軽にご参加ください。(守秘義務厳守…プライバシーは守ります)

- 日時・場所：【岩沼会場】7月15日(水)、8月19日(水)
・時間：10:00～15:00
・場所：岩沼市総合福祉センターiあいプラザ
【名取会場】7月19日(日)、8月23日(日)
・時間：10:00～15:00
・場所：名取市市民活動支援センター
【仙台会場】8月1日(土)
・時間：10:00～15:00・場所：仙台市福祉プラザ
- 対象：被災された方、一般の方
- 参加費：無料
- 申込方法：要予約。下記連絡先にお問合せのうえ、お申込み
- 電話相談：毎週火・木・土曜9:00～17:00
【相談専用TEL】080-3199-4481
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：TEL/FAX : 022-343-9705 携帯 : 090-6253-5640
E-mail : moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL : http://sendaikeicho.web.fc2.com/

福島の子のサロン

ふくしまのママはきびたん'Sへ行こう!

福島から宮城へ引っ越してきた親子のみなさんへ、ゆったり、まったり、なにげなく…をコンセプトにサロンを開催しています。ふくしま生まれ、ふくしま育ち。「福島」をキーワードに仙台で育児をしているママ同士つながりましょう。

- 日時：7月15日(水)10:30～12:30
8月26日(水)10:30～12:30
- 場所：仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央
(仙台市泉区泉中央1-8-6)
- 対象：福島県から宮城県に転入してきた乳幼児親子
- 参加費：無料
- 連絡先：一般社団法人マザー・ウィング
(仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央)
TEL : 022-772-7341
URL : http://mother-wing.jp/gaiyou.html#a02

「いしのまき市民ひろば2015」を開催します

石巻で活躍する市民活動団体の普段の活動を知ってもらえ、団体紹介の展示やチラシ配布などを行う予定です。夏休みということで、多くの市民のみなさんに見ていただくチャンスです!参加したい団体は、ご連絡ください。

- 日時：8月3日(月)～9日(日)9:00～21:00
- 場所：イオンモール石巻2階タイムステーションネオ前(石巻市茜平4-104)
- 内容：活動内容の展示、チラシ展示
※参加ご希望の方、また詳細については下記までお問合せ
- 主催：NPO法人いしのまきNPOセンター
- 連絡先：〒986-0832 宮城県石巻市泉町3-1-63
TEL : 0225-23-0851
(月～金曜10:00～20:00、土曜10:00～18:00)
E-mail : npo@i-port.ne.jp



7/15 7月の親業セミナー 「子どもの考える力を育てる」

家庭のコミュニケーションをより良くし、子どもの考える力を伸ばす「ゴードン博士のコミュニケーション・メソッド」を紹介し、子どもに「伝わらない」、子どもと「噛み合わない」、子どもが「話してくれない」には理由があります。

- 日時：7月15日(水)10:00～11:45
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講師：石田 えみ子氏(PETフォーラム代表、親業訓練シニアインストラクター)
- 参加費：1,000円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み
※詳細は下記URLをご確認ください
- 主催：PETフォーラム
- 連絡先：TEL/FAX : 022-281-0858



STOP! DV市民講座～あなたの身近な人への理解と支援～ 第1回 DVとは「ドメスティック・バイオレンス(DV)の理解と支援」

ごく一部の人たちに起こるものと思われがちなDV(ドメスティック・バイオレンス=配偶者やパートナーからの暴力行為)。国の統計によると、実に女性の4人に1人が被害経験があることが明らかになっています。DV被害の実態と早期発見、当事者の回復に向けて、一人ひとりができることを考えます。

- 日時：7月18日(土)10:00～12:00
- 会場：エル・ソーラ仙台 大研修室(AER28階)
- 講師：中島 幸子氏(NPO法人レジリエンス代表)
- 内容：DV被害の実態、特に精神的暴力・性暴力による被害と回復に向けた支援
※3回講座を開催いたしますが、1回のみ参加も可能
- 定員：70名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み
- 託児：6ヶ月以上小学1年生まで(要申込・先着順)
託児利用料：お子さん1人につき300円
託児締切：7月9日(木)
- 主催：仙台市
- 連絡先：エル・ソーラ仙台 相談支援課
TEL : 022-268-8302 FAX : 022-268-3911
URL : http://www.sendai-l.jp/



オドリノタネ

「すべての人にアートを」をスローガンに、子どもや大人、障がい者、性別を超えたアート活動を展開しています。このダンスワークショップでは、カラダを使って遊び、人との関わりを体験します。この瞬間を一緒に体験しませんか?

や自律の意思を維持したり、技術を身につけたりする中間的
就労作業(就労準備)に用いるための農地を探しています。

- 募集内容：農地(100～200平米程度)を貸して下さる方
- 場 所：仙台市内
- 連絡先：NPO法人仙台夜まわりグループ
TEL：090-8928-6295(溝口)
E-mail：yomawari@medialogo.com
URL：http://www.yomawari.net/

着なくなった衣類・バック・使わない食器の ご寄付をお願いします!

これまで障がい者の就労支援事業としてリサイクル活動を行ってきました。この度、同事業の一環として食器・古着回収プロジェクトを立ち上げました。不要な品を無償回収し、仕分・展示販売を行います。またカンボジアにも送り、低所得地域の活性化と貧しい地域への寄付に役立たせていただきます。

- 対象物品：ご家庭のご不要な衣類や食器を回収します。
 - ①紳士・婦人・子供服・着物(洗濯済みのもの)
※寝具や肌着は受付不可
 - ②カバンやリュックなど
 - ③食器・調理器具(割れや欠けのないもの)
※食器は使用済みで数の不揃いでもOK
- 回収方法：①宅急便を利用する場合は、食器破損防止のため新聞紙や段ボール、衣類などで保護してください。量が多い場合は、回収に伺います(回収エリア：仙南 仙台地区)
②ふきのとう村田まで持参ください
※回収後の、展示販売の売上や、仕分・包装梱包作業料は、携わった障がい者に工賃として支払います
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailでお問合せ
- 募集主体：社会福祉法人はらから福祉会ふきのとう村田
- 連絡先：担当：吉川、太田
〒989-1305 柴田郡村田町大字小泉字南乙内22
TEL：0224-83-5743
E-mail：fukinoto@harakara.jp
URL：http://www.harakara.jp/facilities/facilities.rhtml?blg_oid=100009

事業案内

2015年度 第2回 市民社会研究フォーラム@仙台

日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班では、東日本大震災後のNPOの取り組みについて、NPOの実践者と研究者が相互に学びあう機会を創出しております。興味のある方はぜひどなたでもお越しください。

- 日 時：7月11日(土)13:30～17:00(13:15受付開始)
- 場 所：東北大学経済学部棟4階 大会議室(仙台市青葉区川内27-1)
- 内 容：13:35～14:50
復興コミュニティ・デザインにおけるNPOの役割
(講師:新井 信幸氏/東北工業大学工学部建築学科・准教授)
14:55～16:10
地域コミュニティは大きな家族～継続していくための試み～
(講師:馬場 照子氏/NPO法人巨理いちごっこ理事長)
16:15～17:00
日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班からの報告
- 参加費：1,000円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み。申込時、氏名、所属、E-mail、TELをお知らせください
- 申込締切：7月9日(木)
- 主 催：日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班
- 連絡先：担当：菊池(専任研究員)
E-mail：npo-chosa@yururu.com
TEL：022-791-9323
(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる内)

子育て支援(養育)相談

日頃、お子さんを養育していて「育てにくいお子さん」「気になる行動をするお子さん」などの様子に心配されているご家族の皆様、子育ての悩みを共に考えて行きましょう。

- 日 時：7月18日(土) 13:00～15:00【毎月第3土曜日】
- 場 所：とっておきの広場(柴田郡柴田町北船岡2-9-1)
- 相談員：日本ポーターズ協会認定 養育相談 高橋 邦子氏
- 申込方法：下記連絡先へお問合せ ※要予約
(月・土曜以外は留守電になります)
- 連絡先：青少年と障がい者の自立支援センター

ありがとうございます!! 今月の新入会員・継続会員 (2015.6.16現在)敬称略

正会員
50名

<仙台市> ●大久保朝江 ●佐々木覚亮 ●吉田昭雄
●NPO法人子どもの村東北 ●NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
●社会福祉法人東北福祉会 ●NPO法人20世紀アーカイブ仙台

<気仙沼市> ●NPO法人泉里会

<仙台市> ●阿部幸一 ●上関瞳 ●大久保有希子 ●小野寺真美 ●今野夏樹
●齋藤ツメ ●佐藤理絵 ●白川由利枝 ●高橋陽介 ●長山まどか
●飯田浩江 ●平野卓也 ●深野せつ子
●大國神社の山野草を守る会横尾匡彦 ●NPO法人オリーブの木
●かほく「108」クラブ ●NPO法人シャロームの会
●全国コミュニティライフサポートセンター
●NPO法人童里夢 ●福田内科クリニック
●宮内歯科医院宮内昭穂 ●一般社団法人宮城県聴覚障害者協会
●みやぎ生協生活文化部 ●認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット

<栗原市> ●NPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブ

<登米市> ●NPO法人とめ市民活動フォーラム

<大河原町> ●NPO法人ほっとあい

<山元町> ●NPO法人ささえ愛山元

賛助会員
91名

<北海道> ●小沼亮

<気仙沼市> ●NPO法人海への森をつくる会

<登米市> ●熊谷由紀 ●NPO法人とめタウンネット

<東松島市> ●NPO法人のんびりすみちゃんの家 ●NPO法人みやぎ宅老連絡会

<名取市> ●阿部倫子 ●後藤和広

<柴田町> ●青少年と障がい者の自立支援センターとっておきの広場

<埼玉県> ●中村元彦

<東京都> ●妻鹿ふみ子

<愛知県> ●大久保元博

●会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

寄付・協賛を頂いた方々

<仙台市> ●大西直樹 ●佐々木覚亮 ●大國神社の山野草を守る会横尾匡彦 ●かほく「108」クラブ ●太白ありのまま舎
●公益財団法人せんたい男女共同参画財団 ●NPO法人シャロームの会 ●公益財団法人宮城県国際化協会

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる**
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

6月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

夏休み期間中の民間学童クラブでのボランティア募集

民間学童クラブアフタースクール：キッズベースでは子ども達の夏休み期間中、毎日プログラムを企画し、学んで鍛えて創造して毎日楽しい民間学童クラブをモットーにアクティブに活動しています。キッズベースの活動に興味があり、お手伝いしてくれる方を募集しています。

- 活動日時：7月21日(火)～8月22日(土)
9:00～17:00または18:00(1時間休憩有り)
土・日曜・祝日休 ※曜日、時間は要相談
- 活動場所：◆アフタースクール：キッズベース内
◆仙台市内(今年は石巻市、岩手県一関市、山形県山寺にも出かけます)
- 活動内容：子ども達の安全管理、子ども達の見守りなど
- 服装：動きやすい格好
- 対象：学生、社会人、主婦の方、子どもと遊ぶのが好きな方
- 定員：10名程度
- 報酬：交通費500円/1日
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailでお問合せ
- 託児：お子様連れのご参加も可能
- 募集主体：NPO法人働くお父さんと子どもを支援する会
- 連絡先：担当：平野
〒981-3135 仙台市青葉区北根黒松2-10
クローバーズ・ピアワッセ2階
TEL：022-346-0130 FAX：022-346-0156
E-mail：s-hirano@kidsbase.jp
URL：http://kidsbase.jp/

子ども達の見守りボランティア募集!

ばるけの3事業所では、子ども達と楽しく活動していただけるボランティアを随時募集しています。

- 活動日時：月～金曜(14:00～17:30)
学校休業期間(10:00～16:30)
- 活動場所：◆ばるけ西中田 TEL：022-741-8363
仙台市太白区西中田7-33-10
◆ばるけ南仙台 TEL：022-706-7163
仙台市太白区東中田5-17-19
◆ばるけ柏木 TEL：022-233-8425
仙台市青葉区柏木1-7-36
- 活動内容：子ども達と一緒におやつ作り、工作、お買い物など。活動中の子ども達の安全確保と見守りもお願いします
※時間、内容などの詳細は、各事業所へお問合せ
- 申込方法：上記の希望事業所へお問合せ(平日10:00～18:00)
- 募集主体：NPO法人アフタースクールばるけ事務所
〒981-0913 仙台市青葉区昭和町2-23
ノーヴスアーバンビル401
TEL：022-778-8666 FAX：022-707-0057
E-mail：npo.paruke@ab.auone-net.jp

URL：http://homepage2.nifty.com/paruke/

定禅寺ストリートジャズフェスティバルin仙台 当日の会場運営ボランティア募集

『定禅寺ストリートジャズフェスティバル』は、『杜の都・仙台』を会場に、たくさんの支援・協力のもと、市民ボランティアが中心となり企画・運営をしています。音楽の大好きな市民が演奏し、市民が観客となるフェスティバルです。当日ボランティアのご協力をお願いします!

- 活動日時：9月12日(土)・13日(日)の2日間
もしくはどちらか1日
①8:00～22:00 ②8:00～19:00
③13:00～22:00
※18歳未満の方は、両日19:00まで
- 活動場所：仙台市中心部 各開催場所
- 活動内容：ステージのお手伝い、観客へのパンフレット配布、警備、ゴミの分別・回収など
- 参加資格：15歳以上(中学生不可)
※18歳未満は保護者の同意・署名が必要。
郵送またはFAXのみの受付
- 申込方法：(1)下記「申込フォーム」からお申込み
<https://www.j-streetjazz.com/volunteer/entryform.html>
(2)下記から「申込用紙」をダウンロードし、郵送かFAXでお申込み
<http://www.j-streetjazz.com/wp-content/uploads/2015/03/b47fd3941e80ab5ff2518c8f641e9693.pdf>
(3)件名に「当日ボランティアスタッフ参加希望」と記載し、ボランティア関係連絡用アドレス(staff@j-streetjazz.com)までメール
- 申込締切：8月23日(日)
※先着順(募集状況により早期締切有り)
- 事前説明会：9月6日(日)13:00～(12:30受付開始) 予定
東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)
6階 会議室(仙台市青葉区国分町3-3-7)
※活動内容、申込方法などの詳細は下記URL参照
- 連絡先：公益社団法人 定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-3
新産業ビル304
TEL：022-722-7382 FAX：022-722-8461
(TEL受付/10:00～18:00・土日祝日除く月～金曜)
URL：https://www.j-streetjazz.com/

お知らせ

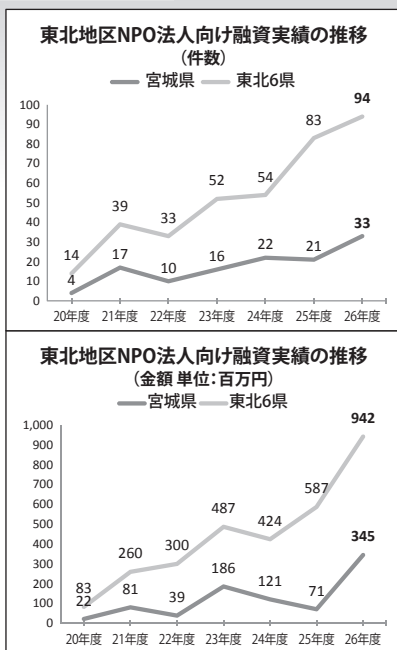
就労準備のため、農地を貸してくださる方を探しています

夜まわり、炊き出しなど、仙台市内で路上生活者・生活困窮者のさまざまな生活支援、自律支援を続けています。今回は仕事が見つかるまでの間、農作業に携わることで、就労意識



ソーシャルビジネスを
営むみなさまへ

ご融資のご案内



日本政策金融公庫国民生活事業は、ご融資を通じて、ソーシャルビジネスを営むまたは新たに始めるみなさまのお手伝いをさせていただいております。

平成26年度の東北地区(6県)のNPO法人向け融資実績は、94件(前年度比 113.3%)、942百万円(同 160.3%)となり、件数、金額ともに過去最高となりました。ご相談はお気軽にお願いいたします。

ソーシャルビジネス支援資金【平成27年2月創設】

ご利用いただける方	次のいずれかに該当する方 1.社会的課題の解決を目的とする事業を営もうとする方または営んでいる方であって、次のいずれかの要件を満たす方 ・地方公共団体の補助金等を受けている方 ・公庫から経営上の助言等を受ける方 2.保育サービス事業、介護サービス事業等を営もうとする方または営んでいる方 3. NPO法人
ご融資額	7,200万円以内(うち運転資金4,800万円以内)
ご返済期間	設備資金20年以内、運転資金7年以内
利率(年)	基準利率、特別利率A(基準利率-0.4%)、特別利率C(基準利率-0.9%)
担保・保証人	お客さまのご希望を伺いながらご相談させていただきます NPO法人は、利率を0.3%(平成28年3月31日までは0.2%)上乘せしうで、代表者保証を免除することができます

※1.ご返済期間や担保の有無によって異なる利率が適用されます。2.審査の結果、お客さまのご希望に沿えない場合があります。

東北広域営業推進室

〒980-8452 仙台市青葉区中央1-6-35(東京建物仙台ビル9階)
TEL 022(222)5339(担当 鎌田、松宮、佐藤)



日本政策金融公庫
国民生活事業

杜の伝言板ゆるるる 第13回

通常総会のお知らせ

日頃より、当法人の活動にご理解、ご参加いただき、ありがとうございます。さて、7月25日に当法人第13回通常総会を開催いたします。総会終了後、講演会も予定しています。

正会員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、議決権はありませんが、賛助会員の皆様も、オブザーバーとしてご参加いただけます。

※杜の伝言板ゆるるるは、ご賛同くださる皆様の会費で運営しています。平成27年6月1日より、新年度を迎え、平成27年度の会員を募集中です。ぜひ、ご支援・ご協力をお願いいたします。会員については、P14をご覧ください。

同日
15:30~17:00

講演会
「市民活動を考える」
開催!!

※詳細は、当法人ホームページをご覧ください。
随時情報をアップしていきます。



■日時:平成27年7月25日(土) 13:00~15:00

■会場:みやぎNPOプラザ(所在地は、P8をご覧ください)

※駐車場はございますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。駐車場が満車の場合、近隣の有料駐車場をご利用ください。